

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022 年 2月 12日

( 18人中 17人 回答 )

事業所名： こども通所サービス にじいろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に基づいた広さが確保されている。	はい…15 どちらともいえない…1 わからない…1 ・子どもが落ち着いて過ごすことができているので良いと思う。	個別活動では部屋を区切るなど対応を続ける。
	2 職員の適切な配置	利用状況に応じて配置ができている。	はい…14 どちらともいえない…1 わからない…2 かなり手厚いと思う。	職員の研修、採用を随時行い、適切な人員配置となるよう努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	問題があれば利用者の目線で見直している。	はい…15 わからない…1 ・子どもたちに朝や帰りの支度がしやすくわかりやすい導線になっていると思う。 ・2, 3段の段差は意味があって設けていますか？	子どもの活動が十分に確保できる対応をしていく。部屋の段差については、体幹を育てるため設備として利用している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県の対応方針に従い感染対策の徹底に努めている。	はい…17 いつも清潔感あり、片付けられています。	引き続き清掃、消毒時間を設け感染対策を徹底する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティング中、職員間で意見交換を行い、情報共有や目標設定の見直しを行っている。	/	職員間で支援目標を共有し、振り返りをし意識づけを徹底する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	当法人の理事、社労士等からの意見や小中学校、病院等からの評価を活用している。	/	今後も様々な機関と連携していき、外部評価を受けるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員の積極的な各研修会への参加。他の事業所とのネットワーク会議に参加。	/	支援に必要な研修会を内部でも実施していき、職員の資質向上に努める。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と面談をし、家庭での様子、本人、家族のニーズ、困りを聞き取り、適切な支援計画を作成している。	はい…17 ・保護者のニーズの聞き取りをして頂き本人の様子、課題から総合的に的確に判断して下さっています。 ・子どものことをよく理解して保護者の意見も必ず親身になって考え作成して下さいます。	保護者の主訴を大切にし、子どもに関わる複数の支援者の意見を基にした計画となるよう努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの発達に応じた個別と集団活動を、必ず取り入れた計画を作成している。	・子どものことをよく理解して保護者の意見も必ず親身になって考え作成して下さいます。 ・目標へ向けての支援内容を、具体的にわかりやすく設定していただいています。	それぞれの発達段階に合わせ、達成可能な作成をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書には、それぞれの特性に応じた具体的な到着目標と具体的な支援内容を記載している。		今後もできる限り、具体的な支援内容を記載していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員の共通理解のもと、個々の計画に即した支援を実施している。	はい…17 ・特性も理解いただき計画に沿った支援をしていただいています。	今後も職員間で計画を確認しながら、適切な支援に努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	チームリーダーのみが立案するのではなく、職員それぞれの得意分野でアイデアを出している。		職員全員が研修等を受けた経験・知識を生かしながら、プログラムの立案・企画・準備に携わっていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では、いつもより早く通所する子どももいるため、時間の区切りをつけ行動することを意識させている。		区切りをつけて行動することで目標を明確に意識させて活動していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの興味・関心に合わせ、活動プログラムを見直している。	・はい…14 どちらともいえない…2 わからない…1 ・歌や制作、集団や個別など様々な活動内容があり子どもが楽しそう。	手先を使う、身体を動かす、季節の行事を取り入れる等、支援目標を踏まえた活動を工夫していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、活動前に支援内容や役割分担を確認している。		今後も確認を徹底する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日活動終了後、振り返りをして、次の課題について意見交換を必ず実地している。		意見交換した内容を他の職員にも必ず伝え共通理解を図っていく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の支援記録は日報に残し、職員全員が把握している。		共有していく中で、いろいろな観点・取り組み方の進展に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		毎日の送り迎えの際に1日の様子を伝えていく中で、今後の支援計画に繋げることができる。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	幼稚園、小中学校での支援者会議に参加している。		これからも参加する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	施設職員の見学を受け入れ情報交換・ケース会議の実地。		今後も諸機関との連携を図っていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象者が出た時の為に資料や情報の収集準備を行っている。		対応できるように情報収集に努めていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各種専門機関とは連携を実施。病院内で実施される事例検討会にも参加。		今後もいろいろな研修を実施・参加する。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	幼稚園の園庭を利用して外遊びをする時、交流できる機会を作っていただいている。	はい…8 どちらともいえない…2 いいえ…2 わからない…5 ・幼稚園に連れて行って下さることで出来るが増えました。 ・幼稚園の園庭遊びがあり園児さんとの交流をととても楽しみにしている様です。	放課後等デイサービスでも交流できる機会を作りたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。		コロナ感染が落ち着けば参加する機会を増やしたい。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に管理者が重要事項説明書で説明を行っている。	はい…17 ・契約時に説明を受けています。	保護者にきちんと明確に説明ができるように努め。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に対し、短期目標・長期目標を具体的に提示し、支援内容についての確認を随時行っている。	はい…17 ・毎回面談として時間を作ってもらい説明を受けています。	子どもの実態・成長過程を重視して丁寧な説明をしていくようにする。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニング講座の実施。	はい…13 どちらともいえない…3 わからない…1 ・定期的開催のお知らせをもらいます。 ・親子教室でペアトレされています。	今後もニーズに沿った講座や勉強会を計画していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送り迎えの時に学校や家庭での様子を聞き、また事業所での子どもの状況を伝えている。	はい…17 ・毎回その日にあったことを教えてもらいありがたいです。 ・連絡帳や送迎時に子どもの様子や状況を話す、聞く機会をいただいています。	顔が見えている関係作りを今後も構築していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には随時対応して助言し、必要があれば関係機関につなげていく。	はい…17 ・いつも親身になって相談を聞いてくださりアドバイスをいただいています。 ・面談の機会を増やしていただけるとありがたいです。	今後も引き続き継続していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	新型コロナウイルス感染対策のため実施出来ていないが、通常は定期的に行っている。	はい…7 どちらともいえない…3 いいえ…2 わからない…5 ・保護者会はコロナ禍以前参加経験あり。交流会、意見交換会などあれば教えてください。	実施回数等、保護者のニーズを踏まえて開催していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口を設置している。	はい…9 いいえ…2 わからない…5 ・先生との距離が近く困った事があってもすぐに相談できる環境です。 ・苦情でないがデリケートな話をしたい時にタイミングや場所の確保が難しいと感じる。	保護者が話しやすい環境整備に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	文字を起こして伝えたり、わかりやすいように工夫している。	はい…16 どちらともいえない…1	それぞれの障害に対応できるように心がける。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HPの活用、お迎えに来られた時に手紙を配布して、説明をしている。	はい…9 どちらともいえない…4 わからない…3 行事予定やコロナ関連等、連絡事項をプリントやHPで発信している。	手紙だけではなく、HPの活用や利用も今後、工夫・検討する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類等は鍵付き書庫にて保管。職員全員に徹底している。	はい…15 どちらともいえない…1 ・わからない…1 ・事務所はいつも整頓されておりしっかり管理されていると思います。	今後も十分に徹底する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員全員に徹底している。	はい…10 どちらともいえない…4 わからない…3 ・初回に避難場所等の説明を受けています。 ・具体的な内容について説明を受けたい。	利用者もいつでも確認できるように掲示する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的実施している。	はい…9 どちらともいえない…3 わからない…5 ・訓練の内容、その時の様子も具体的に教えていただいていますので安心です。 ・不審者の侵入があった場合の子どもの安全避難など具体的な対応を知りたい。	これからも定期的実施し、職員、子どもたちに繰り返し伝える。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員の研修を実施し		定期的な研修会の実施や事例検討会への参加。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束はない。		今後、必要になった時は、十分に話し合い、説明する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの申し入れがあれば、医師からの診断書を提出してもらい、対応する。		職員で情報を共有し、アレルギー対応には責任を持って対処する。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成している。		日常の中で、常に意識を持つように周知徹底に努める。